



みみだより

松江ろう学校 支援部

No. R4-4 2022. 12. 23

今年も残り少なくなりました。冬休みを元気に過ごして、新しい年を迎えたいですね。

さて、今号では、「冬の補聴器・人工内耳の管理」、「本校で実施している検査の紹介」「PEPNet-Japan（日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク）」についてお伝えします。

冬の補聴器・人工内耳の管理

みみだより第1号では、補聴器・人工内耳の汗対策やお手入れ方法についてお伝えしました。冬になると、冬ならではの補聴器・人工内耳の管理が必要になります。これを機会にご家庭でも補聴器・人工内耳の管理について話題にしていただけたらと思います。

結露に注意！

冬は暖房によって、室内と室外の気温差が大きくなります。そのため、チューブやイヤモールドなどに結露が生じ、トラブルの原因になります。（音が小さくなったり、こもってきこえたりすることがあります。）



補聴器を外したら、できるだけ早く乾燥剤の入ったケースに入れ、しっかり乾燥させましょう。イヤモールドやフック、チューブ等の水滴は、こよりなどで吸い取りましょう。

熱に注意！

冬はストーブなど暖房を使う機会が増えますが、補聴器は熱に弱いです。



補聴器をストーブの近くなど高温になる場所には置かないようにしましょう。

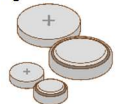


電池の寿命が短くなる！

補聴器に使われる空気電池は、気温が低いところや乾燥しているところでは、電池の減り方が早くなります。



必ず、予備の電池を持ち歩きましょう。こまめに電池の残量チェックをしましょう。電池が冷えている場合は、体温で少し温めてから使しましょう。



【補聴器店の来校について】 《東神実業 月1回 月曜日》

補聴器の調子が悪い、買い替えの相談をしたい、イヤモールドを作りたい等、ご相談ください！

◆相談窓口◆ 石橋

◆時間◆ 13:00～

◆場所◆ 聴能室

◆3学期の来校日◆ 1月16日（月）・2月20日（月）・3月13日（月）



幼児児童生徒の支援を検討する為に本校で実施している検査等について

○**聴力測定**…子どもたちの聴力に変動がないかを定期的に確認します。学期に1回程度、あとは必要に応じて実施し、結果は毎学期保護者にお伝えします。結果が普段の値と大きく異なる場合には、耳鼻科受診を勧めることもあります。急な聴力低下が



見られる場合には、早期に受診し治療することで聴力が改善することもあるため、聞こえの様子に何かしらの変化が感じられる時には測定する方が望ましいです。また補聴器や人工内耳を装着して測定し、どの程度聞こえているか(必要な音を得られているか)も確認します。



○**補聴器周波数特性検査**…補聴器の特性(どのような音を出しているか)を調べる検査です。定期的に補聴器を調べて故障などがなく確認したり、調整を変更した時などに測定したりします。また、子どもたちが補聴器の異変を感じて訴えた時にも調べ、普段の特性との変わりがないかを確認し、必要があれば補聴器店での修理等を勧めることもあります。



○**語音聴取(弁別)検査**…聴力測定では単音(純音、ウォーブルトーン)ですが、この検査では数字や言葉の聞き取りを行い、音声の聞き取り能力を測定します。どの程度の音の大きさが本人にとって一番聞き取りやすいのかを知る目安にもなります。補聴効果の測定にも使用します。



○**発音明瞭度検査**…発音の傾向を把握しその後の指導に役立てるために行います。子どもの発音を複数人で聞き取って実施します。自分の発音について知り、自己理解を深める学習にも活用することがあります。



この検査を実施してみたいな、実施の必要があるかな、
などなどありましたら支援部までご相談ください！



PEPNet-Japan (日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク) の活動を見ませんか？

PEPNet-Japan (日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク) とは、筑波技術大学の呼びかけにより結成された高等教育機関間のネットワークです。主な活動として、「聴覚障害学生支援に関わる相談事業」、「聴覚障害学生支援 MAP (PEP なび) の運営」、「シンポジウムの開催」、「各種教材の作成・配布」などがあります。高等部卒業後の進学先である大学等の支援体制などの情報を得ることができるので、大学で支援をする人が感じる難しさや支援の実態を知ることができ、高校卒業までにどのような力をつけるとよいのかな、と考える際の参考のひとつにしています。また、ホームページから個人会員(対象:聴覚障害学生支援の情報を得たい、または聴覚障害学生支援に関心のある人)として登録すると、シンポジウムの案内などがメールで届き、参加も可能です。

学生向けの「聴覚障害学生サポートブック～18歳から学ぶ合理的配慮～」や聴覚障害学生が意思表明をするためにどのようなはたらきかけが行われたのかをまとめた「聴覚障害学生の意思表明支援のために～合理的配慮につなげる支援のあり方～」等の書籍も取り寄せて中高職員室に置いてありますので、興味のある方は高校通級担当までお声がけください！

